

くすのき



岡本小学校 学校だより

No. 5

令和4年7月20日

『生き生き学校2』



《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成

充実した時間を

待ちに待った夏休みが、いよいよ明日から始まります。連日 30 度以上の暑さが続く日もありましたが、熱中症対策と感染症対策の両方を考慮しつつ、教育活動を充実させてきました。

7月14日(木)には、松田警察署のスクールサポーターさんと立花学園の演劇部の皆さんをお呼びし、夏休みの生活指導を行いました。いろいろな場面での『やってよいこと・わるいこと』を、寸劇を通して具体的に考えることができ、低学年の子どもたちにも十分に理解できる内容でした。

また、児童指導担当の小原教諭からは、特にこの夏休みに気を付けてほしい3点について、話がありました。

- ①友達同士でお金の貸し借りや、ものの売り買いをしないこと
- ②子どもだけで絶対に川や海で遊ばないこと
- ③インターネットや SNS は家庭での約束を守ること

③については、今年度、学校保健委員会でも取上げられた内容です。別紙「学校保健委員会だより」も参考にいただき、ぜひご家庭でルールを決め、子どもたちの心と体の健康を守ってください。

「夏休みだからこそ」のリアルな体験ができることを期待しています。

夏休み前の「体験活動」について、紹介します。

相手の気持ちを考えよう

6月30日(木)、劇団プレイバックズさんを講師にお招きし、4年生が「いじめ防止」におけた授業を行いました。

事前アンケートをもとに、子どもたちがこれまで体験したことのある「嫌な思い出」を、プレイバックズさんが即興劇に仕立てました。その劇を客観的に見つめることで、それぞれの立場の人の思いを想像することができ、新たな気づきが生まれました。

劇の迫力で、いじめられている子の気持ちや雰囲気がとてもよく伝わってきました。いじめられている子を助けると、心がすっきりすることがわかりました。

友達を助ける4つの方法を覚えてやっていけたら、クラスも仲良くなれると思いました。これからは、友達がどう思っているかを考えて発言、行動できたらいいなと思いました。

◆友達を助ける4つの方法とは？

- ①「やめなよ」という
- ②なかまに入らない
- ③おとなに相談する
- ④なかよくする



平和への願いをこめて

戦後 77 年めの夏がやってきました。岡本小学校では、例年夏休み前になると全校で折り鶴を折り、広島原爆ドームに送る活動を続けています。

今年度は、5年生の折り鶴実行委員が「千羽鶴に思いを込めて」という絵本を作成し、全校集会で読み聞かせをしました。その後、5年生が1・2年生に折り鶴の折り方を教える活動を行いました。



千羽を折るということは、病気やけがをした人たちが早く治るように、地震や災害の被害にあった場所が早く元に戻るように…

そんな思いが詰まっているんだよ。

絵本には、こんな言葉が書かれてありました。

夏休み中となりますが、8月6日、8月9日、8月15日は、我が国にとって、とても大切な日です。そして、世界では今も戦争をしている国があります。ぜひ、この機会に、こうした戦争の事実にも関心を向けてほしいです。子どもたちの平和への願いが世界中に届きますように…。

みんなが楽しむために

7月7日(木)の長昼休みに、第1回めの『なかよし班集会』が行われました。

この集会は、「異学年集団での交流をとおしてふれあいを深める」ことが主な目的です。リーダーとなる6年生にとっては、班の仲間をまとめ、自主的・主体的に活動を進めるという大きな任務があります。1~6年生までみんなが楽しめる遊び方を工夫したり、低学年にもわかりやすい話し方を練習したり、互いに助け合ってしっかりと準備を進めてきました。

当日は、遊びの種類によって、体育館やグラウンド、教室などに分かれて活動しました。「だるまさんがころんだ」や「増え鬼」など、遊びの種類も昨年度に比べて豊かになってきました。

リレー鬼について書きます。1年生は鬼のいる場所をみていて、がんばっているなど思いました。4年生の子は「鬼が来たら盾にする」と言って私の腕をつかんできて、楽しいのが伝わってきました。掃除の時間も、楽しくやります。

私は、前よりはすごくうまくいったと思います。なぜなら、場面によってルールを変えたりしたからです。遊ぶときは楽しく、説明するときは真剣にできたから、これからも掃除で楽しく助け合いをしていきたいです。



わたしのひとりごと

ある雨の日、通学路を歩いていると、上の方から「ピーピー」とかわいい鳴き声が聞こえてきました。見上げると、店の軒下にツバメの巣があり、小さな雛たちが5~6羽、大きな口を開けて親鳥にエサをせがんでいました。親鳥は、この大雨の中、これから何度も何度でも巣と外界を行き来するのでしょう。命をつなぐこのけなげな姿に心が打たれました。

明日から、いよいよ夏休みです。子どもたちからは嬉しい歓声が聞こえてきます。

「明日からは毎日弁当作りだ」

「家にもってゲームばかりやっていたらどうしよう」

保護者の方からは、そんな嘆きが聞こえてきそうです。

親にとっては気苦労の多い夏休みですが、私は、「子どもの成長を望めるチャンスである」と思っています。なぜなら、長い自由時間を自分自身でコントロールする必要があるからです。

夏休み、少しでも自律した生活が送れるよう、ちょっとした秘策をお伝えします。

①『早寝早起き朝ごはん』：早寝早起き朝ごはんは、自律神経を整えるための最高の秘策だそうです。たとえ夜更かししてしまっても、早起きするのが良いそうです。

②『食事の時間』を充実させること：学校では、今も黙食が続いています。多くの子どもたちは給食の時間を心待ちにしています。「もうすぐ給食だからがんばろう」という子どもたちが大勢います。食事は、子どもにとって楽しみな時間の一つです。その時間を大好きな家族と一緒に、楽しい話題で盛り上げることができたら、心のエネルギーも充電することでしょう。日々、同じ時間帯に食事ができると生活リズムが整うので、なお良いと思います。

③『勉強のゴールを自分で決める』ようにしてみても良いでしょう。

慣れないと、目標のゴールまで行きつけないことが多々あります。それは、自分の力を客観的に判断しかねるからです。高いゴールを目指すよりも、最初は低いゴールを設定して、「最後までできた」感を積み上げていくと良いです。もし行き着かなかった場合にも、次にどうするかを自分で決めさせます。要は自分で決めたことを自分の力で達成できたという成功体験が大切なのです。ゴールまで行き着いたらうんと褒めてあげてください。

①~③の中で、できることから始めてみると良いと思います。

ツバメの雛は、親の献身的な世話を受けた末、飛び立つ力を蓄え、やがて巣立っていきます。最初に飛び立つその瞬間は、自分自身の力でなければなりません。親ができることはその力をつけてやることです。ツバメは「幸せの鳥」とも呼ばれます。長い夏休み、親子共々「幸せな時間」を共有できますように…。